

# ボッチャ

ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者若しくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツです。

2020年東京オリンピックで、パラリンピックの正式種目となりました。



<b>時期</b>	通年	<b>所要時間</b>	1～2時間	<b>人数</b>	1チーム6人×2チームの対戦形式
<b>対象</b>	幼児以上	<b>活動場所</b>	プレイホール・アSEMBリホール・第一研修室・中央ホール		
<b>準備物</b>	<b>自然の家で貸し出す物</b>		<b>団体・個人で準備する物</b>		
	ボッチャ 3セット		<input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> 水筒(必要に応じて)		
<b>活動の手順</b>	<b>事前指導</b>	1 内容の確認 1チーム6球ずつボールを投げて、目標球にいかに近づけるかを競います。 2 用具等の準備 ・運動できる服装			
	<b>活動の実際</b>	1 活動の説明を聞く。 (1)ねらいの確認 (2)活動方法 ①ジャックボール(目標球)を赤チームが投げます。 ②ジャックボールを投げた人が続けて自分のボールを投げます。 ③次に青チームがボールを投げます。 ④ジャックボールに遠い方が投げます。 相手よりジャックボールに近づいたら投球交替です。 ⑤全球投げて1エンド終了です。 公式戦では4～6エンドやって合計点数で勝敗が決まります。 ⑥得点計算の方法 ジャックボールに近づいたチームが勝ちとなります。敵チームのボールよりも近づけられた球の数が得点となります。 2 活動開始			
	<b>事後</b>	1 怪我の確認をする。 2 用具返却の確認をする。			
<b>備考</b>	・障害によりボールを投げることができなくても、勾配具(ランプ)を使い、自分の意思を介助者に伝えることができれば参加できます。 ・他のニュースポーツと同時に活動し、交替しながら楽しめます。				

